

会 議 録

1 会議名

令和3年度 第1回高土区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

- ① 令和3年度地域活動支援事業の審査について
- ② 自主的審議について
- ③ 年間スケジュールについて

3 開催日時

令和3年4月22日（木）午後6時30分から午後7時55分まで

4 開催場所

高土地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：青木正紘（会長）、上野秀平、玄蕃郁子、杉田一夫、高橋清司（副会長）、
立入真太郎、田中利夫、塚田春枝、樋口里美、日向こずえ（副会長）、
松山公昭（欠席1人）
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【山崎主事】

会議に入る前に、4月より事務局に人事異動があったため紹介する。

【小林センター長】

- ・ 挨拶

【山崎主事】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上

の出席を確認、会議の成立を報告

【青木会長】

- ・挨拶

【山崎主事】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【青木会長】

- ・会議録の確認者：日向副会長

次第2 議題「(1) 協議事項」の「① 令和3年度地域活動支援事業の審査について」に入る。

事務局より説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料1、参考資料1・2に基づき説明

【青木会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

資料1の審査スケジュールについて協議していく。

第2回・第3回地域協議会の日程を確認する。

— 日程調整 —

- ・第2回 地域協議会：5月20日（木） ※ヒアリング
- ・第3回 地域協議会：6月9日（水） ※採択事業の決定

今年度は、以上のスケジュールで進めていく。

以上で次第2 議題「(1) 協議事項」の「① 令和3年度地域活動支援事業の審査について」を終了する。

次に次第2 議題「(1) 協議事項」の「② 自主的審議について」に入る。

事務局より説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料2に基づき説明
- ・旧高士スポーツ広場の建物の除却が決定したことについて説明

【青木会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

資料2について協議していく。

先ほど事務局より説明があったように、前期の協議会では「人口減少の抑制について」を自主的審議テーマとしていた。そのテーマの対応策の一つとして、前期では旧高士スポーツ広場を活用して何かできないかといった話が出ていたと思う。今期の協議会の中でもそのテーマを引き継いでいく必要があるか否かについて、決定していきたいと思う。これについて、意見を求める。

【松山委員】

当初、「人口減少」と「旧高士スポーツ広場の活用」の2つのテーマを1つとして考えていたように思う。しかし、これは10年・20年先のことを考えてやっていかなければならない。個人的に「人口減少」については、どうしようもないものだと思うため、審議を引き継がなくてもよいと思っている。理由として、人口減少は世の中の流れであるため、逆らうことは難しいかと思う。

【青木会長】

他に意見等あるか。

(発言なし)

では、「旧高士スポーツ広場（旧高士中学校跡地）の活用策について」の1点にテーマを絞って進めることとしてよいか。

(よしの声)

資料2に基づき、協議を進めていく。

「1. 自主的審議テーマ名」については、今ほど決定した。次に「2. テーマ選定の背景」についてである。これまでの協議経過を資料にまとめているが、これについて、他の意見等があれば発言を求める。

【松山委員】

先ほど事務局より、建物の除却について話があった。検討内容として、除却後の広場のことだけを考えて協議を進めていけばよいのか。

また、建物の除却作業は、年度内に全て終わるものなのか。建物の除却に関しては、地区内のコンセンサスを得ておいたほうがよいと思う。それが、広場の活用に活かせると思う。

確認したいこととして、旧高士スポーツ広場の建物の除却の話が出ており、市議会で承認を得ているのだと思うため、建物について今後どのような状態となるのか説明してほしい。

【青木会長】

体育館と付属施設の除却に関して予算がついたため、本年度中に除却作業に入るとの情報を聞いている。これに関しては、担当課であるスポーツ推進課より地域協議会に来てもらい説明を求めたいと思っている。

次に「3. 旧高士スポーツ広場の歴史と現状」についてである。

上野委員、資料2の「3. 旧高士スポーツ広場の歴史と現状」について、何か追加するようなことはあるか。

【上野委員】

高士地区体育協会として、承知している事項について説明する。

上越市体育協会より依頼を受け、高士地区体育協会で整備を行っていた。平成30年からはスポーツ推進課が高士地区振興協議会に管理を依頼している。初年度は年4回であったが、昨年と一昨年については年3回の整備をしている。

なお今年に入り、幼年野球チームは小学生が3人となりチームとして成り立たないため、戸野目小学校の野球団に加わって、一緒に練習をしている。そのため、今年度は旧高士スポーツ広場のグラウンドを利用しないことになっている。

ただし、スポーツ推進課と高士地区振興協議会との間で貸借をしているため、建物を取り壊されるまでは振興協議会が整備を行うことで契約を結んでいる。そのため、今年度についても年3回整備する予定となっている。

今ほど旧高士スポーツ広場について話をしているのだが、1番ネックとなることはライフラインだと思う。跡地を活用するにしても、ライフラインがきちんとできていなければ活用策はできないと思う。そのため、この辺についても地域協議会で十分に考えて進めていければと思っている。

【青木会長】

若干、管理方法等について、内容を追加して説明があった。

次に活用策について審議していこうと思う。

「4. 地域協議会が考える旧高士スポーツ広場の将来像（活用策）」についてである。これまでにも様々な活用策に関する意見が出ているが、資料記載の他に、将来像・活

用策について、意見等求める。

(発言なし)

この辺については、直接的に関わる部署、或いは地主等、昔は飯田町内の住民が生活していたこともあり、飯田町内の住民の関わりが大きいと思うため、そういった人たちの意見を聞くといったことも、今後は入ってくるかと思う。

とりあえずは、今思いつく範囲のことで発言を求める。

【松山委員】

一時は旧高士スポーツ広場で温泉を掘るといった話が出ていたこともあった。しかし現段階では現実的ではない。

自分としては、活用策というものは、通年で何かを行うといったイメージではなく、例えば地区の住民が集まる場を年に1度だけでも作る、いわゆる体育大会のようなことをイメージしていた。だが上野委員の発言にあったように、ライフラインについては全くそのとおりで納得した。そうすると、ものの見方が異なってくる。

他の委員の意見をいただきたいのだが、旧高士スポーツ広場の土地をどうしても欲しい、という人はいないことが現実であるため、どうするかといった話になるのだと思う。建物は老朽化しているが、グラウンドについてはある程度使えるようになってきている。だが除却してしまうと、ライフラインである水や電気も多分、使えなくなってしまう。

【青木会長】

先ほど、本年中に除却の計画があるとの話を聞き、地域協議会の会長としてはありがたい話だと思った。それまでのいろいろな状況から考えると、数年はまだ難しいと考えていた。

自主的審議の1つのステップとしては、旧高士スポーツ広場の跡地をどのように活用していくのかを考えながら、市に早く除却処分をしてほしいと申請することを個人的には思っていた。だが今回、除却の話を知り、除却後にどうしたら有効利用ができるのか、といったことが具体的に差し迫ってきたということだと思う。ありがたい話だと思う。

1つのステップを超えて、次のステップに進んだ中で、地域協議会としてどうするのかという案を作っていければよいと個人的には考えている。そして、関係する人たちに提案していき、それを膨らませていくことがよいと思っている。

先ほど松山委員より発言があったように、少し長い目で見て、いろいろと考えながら進めていく。そして最終的に意見書として出すのか否か、事務局の説明では4通りの方法があるとの話があったが、「このようなことをやるためには、どうしたらよいか」を市と相談をしながら、考えていけばよいと思っている。

この地域で有効利用するためにはどうしたらよいか、以前にも話が出たように、今の組織のままではなかなか難しいこともあるかもしれない。新たな組織を立ち上げて行う必要があるのか否かは分からないが、そこまで行くことができれば非常によいと思う。よいかたちのものが生まれてくるようにも思う。

現時点での、将来像・活用策等、意見を求める。

(発言なし)

立入委員、何か意見等あるか。

【立入委員】

旧高士スポーツ広場の土地を有効活用することは必要かと思うが、それをスポーツに使用するとなると話は別だと思う。上野委員の発言にもあったようにライフラインもそうであり、また交通のインフラの問題、駐車場も一応あるが、ないようなものである。周辺の各地区には同様のスポーツセンターの広場が十分にあるわけである。もしどうしてもスポーツに活用するのであれば、やはりきちんと整備をした上で考えていかなければならないと思う。

だが、あの土地を有効活用するというのであれば、別にスポーツではなくとも、何でもよいかと思う。先ほどの松山委員の発言にもあったように、温泉を掘ることもよいかもしいない。

ただ、現在活用策として上がっている、地元の人たちが集える場所・拠点・他地区の人から来てもらえる場所にしたいのであれば、とっさに思いついたこととして、例えば、「地元のものづくり工房」のようなものを作ることができれば、地元の人たちもちろん活用することができる。また若い人たちが、例えば「高士の伝統のものを学ぼう」と思って行ったり、他地区の人を呼んだりといったかたちで進めていくことができるように思った。

いずれにしても、あそこは場所的に整備も必要と思うため、それに対して今度は金策も考えていかなければならないと思う。

【玄蕃委員】

あの場所に畑があるのだが、最近、杉を切るようになったため、とても見晴らしがよくなり明るくなった。そして、旧高士スポーツ広場周辺は耕作放棄地がどんどん増えており、畑をする人もいないため管理も大変になってきている状況だと感じる。

まず1点、先ほどよりライフラインという話が出ているが、実際に遊びに行った時に、トイレがなく手を洗うところもないのでは、現状、何かイベントをするにしても、難しいと思っている。まずはスポーツ推進課がどのようなかたちで除却するのか、どこまで壊されるのかを知りたい。もう知っている人もいるのかもしれないが、自分は除却の話を伝え聞いた程度であるため、「どのように」「どこまで壊すのか」「どこまで残すのか」をはっきりと教えてほしい。

ただ、もちろん残すとなれば、管理しなければならぬためランニングコストがかかってくるわけである。それ以外にもいろいろな問題が出てくると思う。そこは1度しっかりと話を聞くことが大事かと思った。

次に、人口減少のことも含めての話だが、やはり今この地に残っている住民が楽しくみんなで暮らすということが、人口が増える要因にもなってくるのだと思っている。そのため、まずは住んでいる自分たちがしぼんでいては増えないというか、先はどうしようもないと思う。スポーツ広場の建物を壊した時に外部から入ってくれる人がいないものかとも思う。

現状、市の土地であるため、どのような活用なのかは分からない。そういったところが全く見えない段階である。今はグラウンドのことだけを考えているのか。

【松山委員】

更地にするのだと思う。

【玄蕃委員】

更地にした後はどうなるのか。

【青木会長】

そのあたりは、現状では何も分からない。

他に意見等あるか。

【塚田委員】

昔から水道はなかったのか。

【上野委員】

水道はあるのだが、現在は止めている。

【塚田委員】

下水はあるのか。

【上野委員】

下水はない。

【松山委員】

トイレは汲み取り式であった。

【青木会長】

まずは委員が現状を認識し、例えば、9月以降に除却に入るということであれば、取り壊し方はいろいろあると思うのだが、単純に壊すのではなく、できる限り後々のことを考えて行ってほしい、ということを担当課に対して要望することもできている。そういったことも含めて考えてほしい。

【松山委員】

取り壊しが始まる前に見に行ってはどうか。見れば「こういうところだ」と分かると思う。

【高橋副会長】

今ほど松山委員より発言があったように、正副会長としても、やはり協議会委員全員の認識を共有化するというところで、現場確認をしてはどうかという話が出ていた。賛成していただければ、まずは現状認識というところから入り、その後、いろいろな改善策や市への要望、活用方法、多目的な活用、ライフライン、駐車場、トイレや水道等の問題についても、その場所でいろいろと意見交換ができると思う。

【青木会長】

そういったステップは大事だと思う。工事に入る前にスポーツ推進課が地域協議会に来て説明をするとの話も聞いている。ぜひ一緒に認識を深めていかなければならないと思う。その前に一度足を運び認識を深めてもらえればと思う。

また、スポーツ以外の用途という話に関しては、過去に支援事業として飯田川で花見をする事業を提案したときに、飯田町内の中を周遊する散歩道・周遊路を造りたいとの案が出たが、実現しなかったと聞いている。

こういったことを今後の活用策の案の中に取り入れ、単にスポーツだけではない方向に変えていければよいと思っている。

【田中委員】

実際に、現在どうなっているのか分からない。自分も草刈りには行ったことがあるが、その時点で体育館は使用されていなかった。現在どのような状況になっているのか本当に分からない状態であるため、どのように活用するかと言われても難しい。

先ほどの話で言うと、正式な駐車場というものはないわけである。地区外から来ても、駐車場もないような状態では人も来ないと思う。その辺の整備をどうしたらよいかということである。そのため、やはり現地を見てから再度話をしたほうがよいかと思う。

【青木会長】

付属するいろいろな看板等があるため、そういったものを一気に取り壊すようなことにはしたくない。そして駐車場については、建物を取り壊して更地にすれば、結構、使用できる地面は出てくると思う。そういったことも含めて、どのようにしたいのかを考えていければよいと思う。

【松山委員】

例えば、整備をするとなった場合、所有権はどこに行くのか。市で管理してもらえるのか。建物は除却してしまうのだが、土地はどうなるのか。

【青木会長】

土地については現時点では分からない。個人の土地があるのか否か、借用という話になっているのかもしれない。そういったことも含めて、整理しなければならないと思う。

多くの委員より、よいアイデアが出たため、協議がかなり進んだと思う。今後はこれまでの意見をまとめ、関係する部署や団体等と一緒に検討していくことになっていくと思う。

次に「5. 活用策の検討方法」として3種類の団体等が記載されている。

大体は記載の団体等でよいかと、自分は思っているのだが、記載内容の他に何か意見等あるか。

「③ 一般区民」の中で言うと、例えば飯田町内会の住民から話を聞くことも含めていかなければならないようにも思う。あるいは、妙油町内会も実際に入り込んでいるようなところもあるため、そういったところも含めて、話し合いに入っていただくことが必要ではないかと思っている。

活用策を検討するにあたって、他に何か意見等あるか。

【上野委員】

体育館や研修棟の周辺にはブドウ畑や野菜を作っている畑があるため、その地権者とも話し合いをしなければならないと思う。

【青木会長】

現在の旧高士中学校の敷地がどの範囲で、実際に使用させてもらえるのかは別としても、その周りに使っていない田畑もあるため、そういったことも含めて整理していかなければならないと思う。

【松山委員】

再三の話にはなってしまうが、まさかこうなるとは思っていなかった。それが今回取り壊すと決まった。「年内に取り壊すが、どう活用するのか」と言われているわけである。

私はソーラーパネルを造ってはどうかと思う。最初は人口減少対策も視野に入れながら、体育館を活用するイメージで、卒業生や子どもたちを集めて何かできないかと考えていたのだが、除却によってそういった案が飛んでしまった。ソーラーパネルはどうか。

【青木会長】

よいと思う。そこで発電をして、その電気を水道やトイレのエネルギーにできればよいと思う。

【松山委員】

あれだけの場所にソーラーパネルを造ることができれば、とてもよいと思う。

【立入委員】

私は専門家ではないのだが、実際にソーラーパネルを建てる場合、一般家庭用ではなく、各地に設置されているようなメガソーラーのようなものがある。実際、高士地区内の南方でもいくつか設置されている。

ただし、設置するためには高さが問題である。低過ぎた場合、今年度のような大雪が降るとパネルがすべてやられてしまう。

私は過去に阿賀野市だったか、メガソーラーの基地に見学に行ったことがある。あのくらいの規模で設置をしなければ、実際に電気を売電するというぐらいまでにはいかない。

過去に自分の仕事の関連企業から、ソーラーパネルの元手を回収するためには 20 年

かかるとの話を聞いたことがあり、難しいと思った。

確かに、1つの案としてはよいと思う。だが、周辺の地権者の問題や日照権等もあるため、なかなか難しいのではないかと意見を聞いていて思った。ただ、1つの案としては面白いと思う。

【青木会長】

難しいかもしれないというものも含めて、いろいろな方向から検討し、意見を出していく必要があるかと思う。

【日向副会長】

事務局に再度確認である。

今回、高士区地域協議会としては「早く壊して欲しい」といった意見を市に出さずに壊していただけることになった。そのため、早急にこの意見をまとめなければならないといった期限はないということによいか。

【山崎主事】

期限はない。

【日向副会長】

急いで決めなければならないということでは決してないため、慌てずに、やはり1つずついろいろな団体等の意見を聞いてまとめていきたいと思っている。

もちろん、市がどのように除却してくれるのかという話を聞かなければ、意見は出ないと思う。そのため、まずは最初に協議会委員で現地視察をする方向で自分はよいと思う。

【杉田委員】

駐車スペースは必要だと思う。

例えば、夏はキャンプに使用できて、冬は雪像づくりや雪遊びができるような場所を考えてはどうか。

【玄蕃委員】

夢を語るような話になってしまうのだが、特に何も手を加えなくとも、あの場所には犬を連れてきて遊ばせている人がいる。例えば、期日を指定して土日限定でドッグランのようにすれば、市内から遊びに来る人もいると思う。

だが、ドッグランができるような環境というものが、どこまで整えることができるのかは分からない。

もし、そういったことができるのであれば、例えば地域住民で協力し合って、道沿いに花を植えるといった活動も個別に考えていくことが出来ると思う。

また先ほどのメガソーラーも、将来のためには自分はずごくよいことだと思うが、管理が大変だと思う。各世帯から資金を集め、すぐにできるものなのか、そういったことも専門家に聞かなければ分からないのだが、面白いとは思う。

【青木会長】

先ほど過去の話として、旧高士スポーツ広場を通る遊歩道の話をした。

今でも高士保育園の児童が週1回程度、楽しそうに散歩している様子をよく見かける。今ほど玄蕃委員の発言にもあったように、花を植えるなど綺麗に遊歩道を作って人を集めることもよいと思う。

【松山委員】

過去に中学校があった当時は、道に桜の木を植えており、かなり綺麗になっていた。今年の大雪により折れてしまったかもしれないが、まだ何本かは残っていると思う。

【青木会長】

1・2本あるかどうかというくらいだと思う。

【松山委員】

あれから何十年も経過し、新しい木を植えたとの話は聞いていないため、そのままになっているのだと思う。非常に綺麗な桜であった。

あの場所はとてもよい環境だと思う。高い木もなく遠くまで見渡すことができる。そのため建物を建ててしまうと逆に厄介だと思う。

【青木会長】

やはり最低限、水道やトイレは欲しい。

【松山委員】

同様の建物は市内に多く余っており、どうしようもなくなっている。学校の跡地が多くなっており、困っている。どうしたらよいかといったときに「予算がない」と言うのであれば、意見にあったように遊歩道にするのか、あるいはその土地を有効利用して商売をする等しかないと思う。

残念ながら、高士地区内の人口は増えず、減少していきただけである。そういったときに地区として考えるのではなく、行政としてももの考えていかなければなかなかうまくいかないと思う。

【青木会長】

「どんな団体」「どんな内容」「どんな方法」といったことについては、本日の意見を参考に、正副会長で追加案も含めて検討し、協議会で確認をしながら進めていければと思うがよいか。

(よしの声)

最後に「6. 協議会としての最終目標」についてである。資料2には2つの内容が記載されている。

1つ目は「意見書を市へ提出する」、2つ目は「組織を立ち上げる」ということである。組織とはNPOのようなものになると思うのだが、この場で具体的なことを話し合うことも難しいと思うが、いずれは自然に出てくる話のように思う。

【松山委員】

自主的審議については、単年度で考えなくてよいか。2年・3年をかけてじっくり・きっちりと進めていってよいのか。

【青木会長】

もちろん、そのようになると思う。すぐに案を出すということではなくてよいと思う。自主的審議については、以上のようなかたちとしてよいか。

(よしの声)

以上で次第2 議題「(1) 協議事項」の「② 自主的審議について」を終了する。

次に次第2 議題「(1) 協議事項」の「③ 年間スケジュールについて」に入る。

事務局より説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料3に基づき説明

【青木会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

自主的審議の中で、8月以降に「地域との意見交換」を考えているのだが、9月より取り壊し工事が入るような話もある。また先ほど、スポーツ推進課立ち会いの説明や、現地見学が前倒しとなる可能性があるとの話もあった。それに合わせて、予定を少し前倒ししてはどうか。

先ほど出た意見にもあったように、単に建物を取り壊して更地にするのではなく、

次のステップを考えて、例えば「駐車場にしたい」といった意見もあると思うため、できれば早めに実施できればと思っている。

では資料3の年間スケジュールは今ほどの内容を踏まえ、進めることとする。

以上で次第2議題「(1) 協議事項」の「③ 年間スケジュールについて」を終了する。

次に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。

次回の協議会では、地域活動支援事業のヒアリングを実施する予定である。

- ・次回の協議会：5月20日（木） 午後6時30分から 高士地区公民館 大会議室
 - ・内容：地域活動支援事業について（ヒアリング、特定事業の決定）
- その他、何かあるか。

【山崎主事】

- ・前期地域協議会委員を対象とした意識調査の結果の送付について説明
- ・前年度の地域活動支援事業の実績報告書について、配布の有無を確認

【青木会長】

前年度の実績報告書を配布することとしてよいか。

（よしの声）

【日向副会長】

- ・閉会の挨拶

【青木会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。